

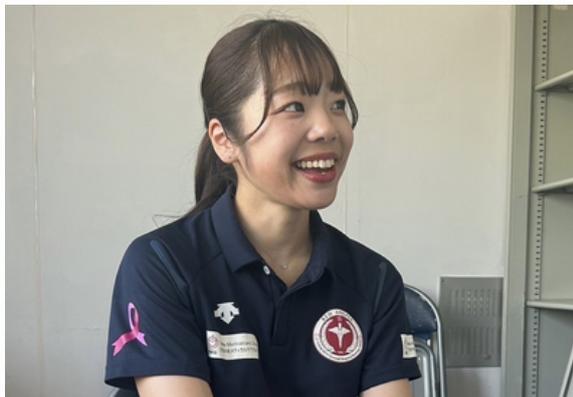


# CHUO UNIVERSITY ROWING CLUB 中央大学漕艇部

2024年6月15日

漕艇部マネージャー：久保陽菜

今回は、現在戸田中央総合病院ローイングクラブで漕手として活動中の渡邊花穂さん（2016年入学/法学部）にお話を伺いました。



※バウが渡邊さん

Q：第102回全日本ローイング選手権大会を最後に引退されると聞きましたが、意気込みをお聞かせください！

A：終わりよければすべてよし！最後終わって笑顔で締めくくれるように、自分ができる最大限のことをしようと思っています。

Q：小中と軟式野球をやっていたとのことですが、ボートを始めたきっかけは何ですか。

A：家が河口湖の近くにあったので、ボートという競技は元々知っていました。行きたかった地元の高校に入学し新しいスポーツをやりたいと思い、高校から始める人も多いボートを選択したことがきっかけです。野球で培ってきた体力を活かせること、家から河口湖が近かったこと、今しかできないものということでボートを始めました。

Q：高校、大学、社会人とボートに対する意識は変わりましたか。

A：総歴が長くなれば長くほど心に余裕ができ、より楽しむことができるようになっていきました。若い頃は結果に一喜一憂していましたが、楽しむことも大事、勝つことだけが競技の楽しさにつながるわけではない、ということに気が付きました。

Q：中大ボート部時代の思い出はありますか？

A：夏の花火大会がいい思い出ですね。みんなで花火大会楽しみ、「インカレに向けて頑張ろう！」「合宿に向けて士気を高めていこう！」という雰囲気が楽しかったです。



Q：ボートを続けていて大変なことも多いと思いますが、どのようにモチベーションを維持してこられましたか？

A：私は能天気で楽観的、ポジティブな性格なので、金メダルをとっているカッコいい自分を想像しています！笑っている自分の方がいいです！！

Q：最後に現役生に向けて一言お願いします！

A：毎日朝早く起きて練習する姿はとてもかっこいいです！

大変なこともあると思いますが、一生懸命頑張ったことが、今後のいい思い出になると思います。そして中大漕艇部員としては、勝ちにこだわることも大切なので、毎日自分を褒めてあげながら、辛いトレーニングをどうすれば楽しめるかを考えながら頑張ってください！隣の艇庫で頑張ってるのをみていつも励まされています！共に頑張りましょう！

---

インタビューを終えて：

今回2度目のインタビューとなり緊張気味でしたが、渡邊さんがニコニコと優しい笑顔でお話を聞かせてくださったので楽しくインタビューをすることができました。沢山の素敵なエピソードを伺いましたが、中でも渡邊さんのボートに対するモチベーションに感銘を受けました。普段、私はマネージャーとして選手をサポートしていてボートは大変なスポーツなのだろうと感じる場面が多いです。しかし、渡邊さんは明るい未来を想像しそれを目指してポジティブに努力しているそうで、きっとチームに欠かせない選手なのだろうなと感じました。今回は本当に忙しい中ありがとうございました。全日本選手権頑張ってください。現役生一同応援しています。

2年マネージャー：久保陽菜

---

写真提供：  
戸田中央総合病院RC